

感染防止支援金 「消費税に係る仕入控除税額報告書」提出が求められています

大阪府・厚労省の感染拡大防止等に係る支援金の給付を受けた医療機関は、「消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額報告書」の提出が求められています。消費税の課税事業者に該当しない医療機関であっても提出が必要となる。詳細は大阪府や厚労省のホームページを参照。

令和2年度大阪府新型コロナウイルス感染症に係る医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業補助金(100万円)

【提出期限】4月30日

※大阪府では4月30日に提出が間に合わなかった医療機関に対して速やかな提出を呼び掛けている。

【提出先】

■郵送の場合

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 健康医療部 保健医療室 感染症対策支援課支援企画グループ支援金(仕入控除税額報告)担当宛

■メールの場合

coronataisaku01@gbox.pref.osaka.lg.jp

件名に「〇〇(事業者名)・支援金仕入控除税額報告」と記入



令和2年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金(25万円)

【提出期限】6月30日

※令和3年度分(令和3年4月以降に申請)の本補助金の提出期限は、2023年6月30日となる。

【提出先】

〒100-8916 東京都千代田区霞が関122 厚生労働省医政局医療経理室宛



大阪府

厚労省

※「令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金」(8万円)も同様の報告書を2023年6月30日までに提出が必要。

【提出するもの】ダウンロードが困難な場合は協会にご相談ください

①報告様式1及び2(QRコードまたは大阪府、厚労省各HPからダウンロード)

②添付書類(消費税に係る確定申告書の写し等。消費税の申告義務がない場合は基準期間における課税売上高を記入します)

※課税売上高とは、保険診療以外の自由診療等にかかる金額を指す。1000万円未満は免税事業者となる。

3年間の「配慮措置」導入 負担増の上限3千円

今年10月1日から75歳以上の高齢者の医療費の窓口負担が現行「1割」から「2割」へ引き上げが予定されている。2割負担による影響が大きい外来患者について、政府は「配慮措置」を講じる。施行後3年間、1割負担の場合と比較して1カ月当たりの負担増を最大3千円に収まるよう措置する。入院の医療費は対象外。

10月実施予定 75歳2割化

機関にまたがる場合は差額が払い戻される仕組み。

解説

2割化の対象となるのは370万人で被保険者の2割が該当する。昨年の通常国会で自民、公明、維新、国民民主の賛成で成立した。窓口負担の2倍化によって経済的な理由による受診控えが懸念されている。

同一の医療機関での受診については、上限額以上は支払わなくてよい取扱いとなり、現物給付となる。複数の医療機関にまたがる場合は差額が払い戻される仕組み。

協会・保連は7月の参議院選へ向けて2割化中止を求める請願署名に取り組んでいる。

【一面参照】

【配慮措置が適用される場合の計算方法】

例：1カ月の医療費(10割分)が5万円の場合

① 窓口負担割合1割のとき	5,000円
② 窓口負担割合2割のとき	10,000円
③ 負担増(②-①)	5,000円
④ 負担増の上限	3,000円
払い戻し等(③-④)	2,000円

配慮措置 1カ月5000円の負担増を3000円までに抑える。

CAD/CAM冠

全大臼歯に適応できる可能性

東北大学が調査結果を発表



東北大学大学院歯学研究所の研究チームが第二大臼歯へのCAD/CAM冠の治療成績は健康保険で認められている第一大臼歯へのCAD/CAM冠の成績と同程度であったとする調査結果を報告した。調査報告は、すべての大臼歯にCAD/CAM冠の保険適用範囲が拡大されることを前向きに支持するものとしている。

調査は同大学院の分子・再生歯科補綴学分野の猪股美祐博士、原田章生助教、江草宏教授らによるもので、CAD/CAM冠を装着した大臼歯

362本の経過を診療録から最長4年にわたり調査し、臨床的トラブルが生じた106本のうち79本(74.5%)が冠の離脱であったことをつかんだ。離脱したうちのほとんどは再装着が可能であり、再装着を含めると生存率は93.1%で、 Kaplan-Meier法で計算した累積生存率は3年で86.5%で、トラブルの発生について冠の装着部位(上顎/下顎、第一大臼歯/第二大臼歯、第三大臼歯、最後方歯かどうか)による差は認められなかったとしている。

すべての大臼歯にCAD/CAM冠の保険適用範囲が拡大されることによって、金属アレルギー、見た目の悪さ、歯科用金属の価格高騰などによる医療費増加などの解決につながる事が期待されるとしている。

平和企画のご案内

近畿反核医師懇談会学習会

長崎原爆被害の実相を聞くー「黒い雨」広島判決を受けて

講師 大矢正人氏(長崎総合科学大学名誉教授) 山本誠一氏(長崎被爆地域拡大協議会事務局長)

日時 6月5日(日)午後3時~ 会場 M&Dホール(Zoom併用)



大阪反核平和医療人の会共催講演会

日本の加害責任への向き合い方

講師 林博史氏(関東学院大学教授) 日時 6月19日(日)午後2時~ 会場 M&Dホール(Zoom併用)



煙に発がん性物質 代表的な有害物質は、ニコチンや一酸化炭素、ベンゼン、ホルムアルデヒド等である。ニコチンはタバコをやめられなくする依存性物質である。タバコを吸うとおよそ5分で血液中のニコチン濃度が最大になるが、吸っていないとすぐに濃度は低下してゆく(ニコチンの体内半減期は15~2時間である)。喫煙者はニコチン依存症となり、ニコチン濃度を維持するために断続的にタバコを吸うようになる。ニコチンは脳の発達に害を及ぼす。

加熱式タバコからの有害物質は? ー未知の物質もー

新型タバコの前から、まず従来からのタバコの煙に含まれる有害物質について説明する。紙巻タバコの煙には、5000種類以上の化学物質が含まれている。そのうちの70種類は、発がん性物質であり、その他にも人体の呼吸器系や心血管系に害を及ぼす物質も含まれている。さらには、子どもの成長や脳の発達に害を及ぼす物質もある。

新型タバコのサイエンス④

田淵貴大(大阪国際がんセンター・がん対策センター疫学統計部部長補佐)

図. 紙巻タバコとアイコスから出る化学物質の量(µg/1本)

化学物質の種類	IQOS		基準となる紙巻タバコ
	Regular	3R4F	
ベンゼン	0.66 ± 0.09	110 ± 4.4	
プロピレングリコール	320 ± 82	14 ± 2.0	
グリセロール	4000 ± 970	1800 ± 18	
ニコチン	1200 ± 130	2100 ± 120	
ホルムアルデヒド	4.8 ± 1.0	41 ± 2.7	
アセトアルデヒド	190 ± 16	1500 ± 19	
粒子状物質総量(mg/cig)	39 ± 2.6	34 ± 2.6	
タール(mg/cig)	9.8 ± 3	25.2 ± 1.5	
一酸化炭素(mg/cig)	0.44 ± 0.04	33 ± 1.8	
タバコ特異的ニトロソアミン総量	70 ± 7.2	838.2 ± 53.7	

出典: Uchiyama S, Noguchi M, Takagi N et al. Chem Res Toxicol 2018; 31: 585-593. Bekki K, Inaba Y, Uchiyama S, Kunugita N. J UOEH 2017; 39: 201-207.

1国際がん研究機関(IARC)は、ヒトにおいて発がん性の十分な証拠がある場合に「ヒトに対して発がん性がある」(グループ1)と定義している。

加熱式タバコではこれらの有害成分の量がどうなっているのか、日本の研究グループによる実験結果がある。基準となる紙巻タバコ及びアイコス専用スティックから出る有害物質の量がそれぞれ調べられた(図)。紙巻タバコ1本あたり、ニコチンが2100µg、一酸化炭素が33.0mg、ベンゼンが110µg、ホルムアルデヒドが41µg、タバコ特異的ニトロソアミンが838.2ng、グリセロールが1800µg、粒子状物質総量として34mg、出ていると分かっていた。一方、アイコス・スティック1本あたりでは、ニコチンが1200µg、一酸化炭素が0.44mg、ベンゼンが0.66µg、ホルムアルデヒドが4.8µg、タバコ特異的ニトロソアミンが70.0ng、グリセロールが4000µg、粒子状物質総量として39mg、出ていると分かった。ここでは、多くの種類の有害物質がアイコスからも検出された、という事実が重要だと考えられる。

加熱式タバコではこれらの有害成分の量がどうなっているのか、日本の研究グループによる実験結果がある。基準となる紙巻タバコ及びアイコス専用スティックから出る有害物質の量がそれぞれ調べられた(図)。紙巻タバコ1本あたり、ニコチンが2100µg、一酸化炭素が33.0mg、ベンゼンが110µg、ホルムアルデヒドが41µg、タバコ特異的ニトロソアミンが838.2ng、グリセロールが1800µg、粒子状物質総量として34mg、出ていると分かっていた。一方、アイコス・スティック1本あたりでは、ニコチンが1200µg、一酸化炭素が0.44mg、ベンゼンが0.66µg、ホルムアルデヒドが4.8µg、タバコ特異的ニトロソアミンが70.0ng、グリセロールが4000µg、粒子状物質総量として39mg、出ていると分かった。ここでは、多くの種類の有害物質がアイコスからも検出された、という事実が重要だと考えられる。

加熱式タバコではこれらの有害成分の量がどうなっているのか、日本の研究グループによる実験結果がある。基準となる紙巻タバコ及びアイコス専用スティックから出る有害物質の量がそれぞれ調べられた(図)。紙巻タバコ1本あたり、ニコチンが2100µg、一酸化炭素が33.0mg、ベンゼンが110µg、ホルムアルデヒドが41µg、タバコ特異的ニトロソアミンが838.2ng、グリセロールが1800µg、粒子状物質総量として34mg、出ていると分かっていた。一方、アイコス・スティック1本あたりでは、ニコチンが1200µg、一酸化炭素が0.44mg、ベンゼンが0.66µg、ホルムアルデヒドが4.8µg、タバコ特異的ニトロソアミンが70.0ng、グリセロールが4000µg、粒子状物質総量として39mg、出ていると分かった。ここでは、多くの種類の有害物質がアイコスからも検出された、という事実が重要だと考えられる。